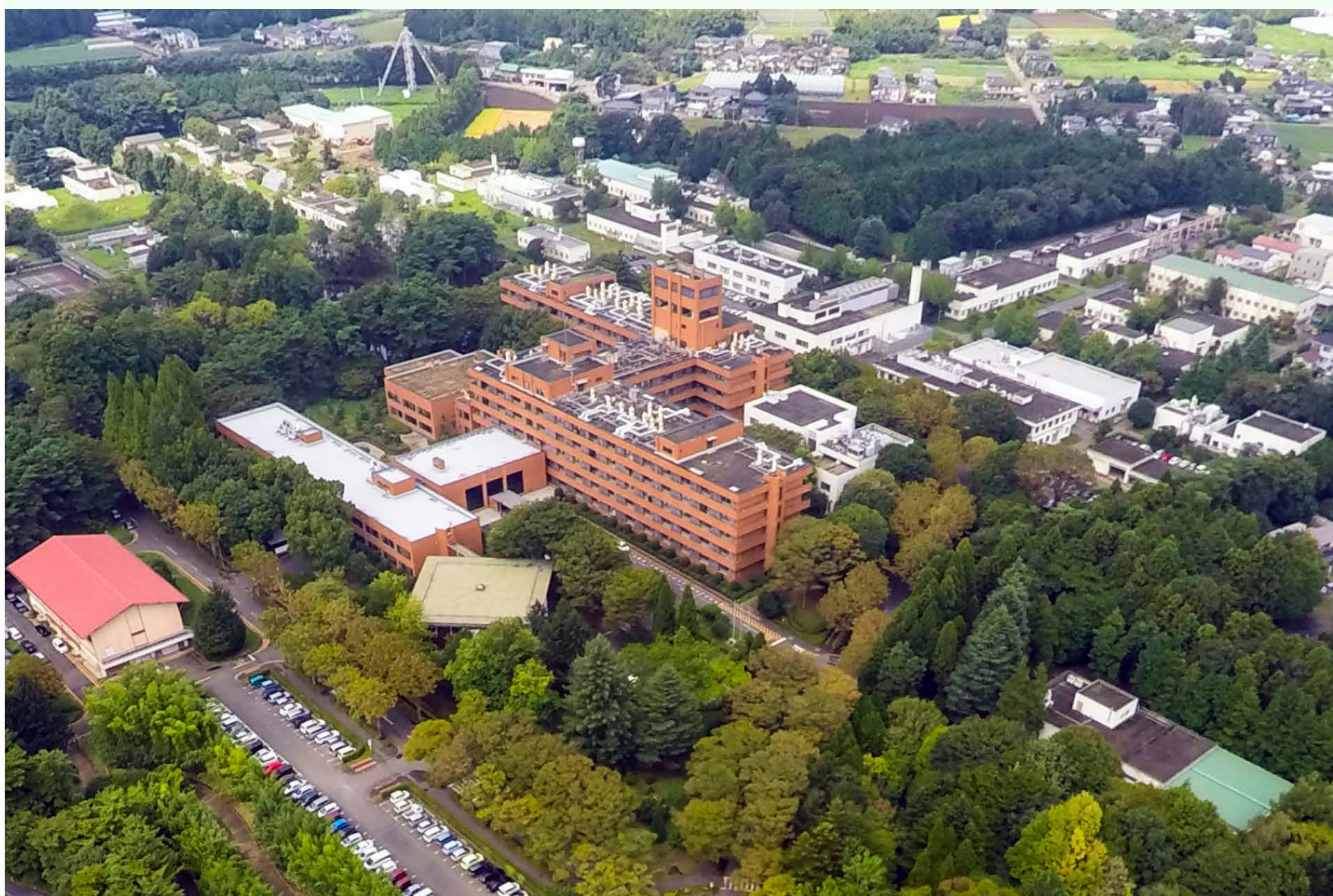


森林総合研究所

潜入レポート



森林総合研究所は、森林の恵みを守り生かし、上手に育てながら賢く使うための研究をする国立研究機関です。ここはどのような施設なのかをレポートします。

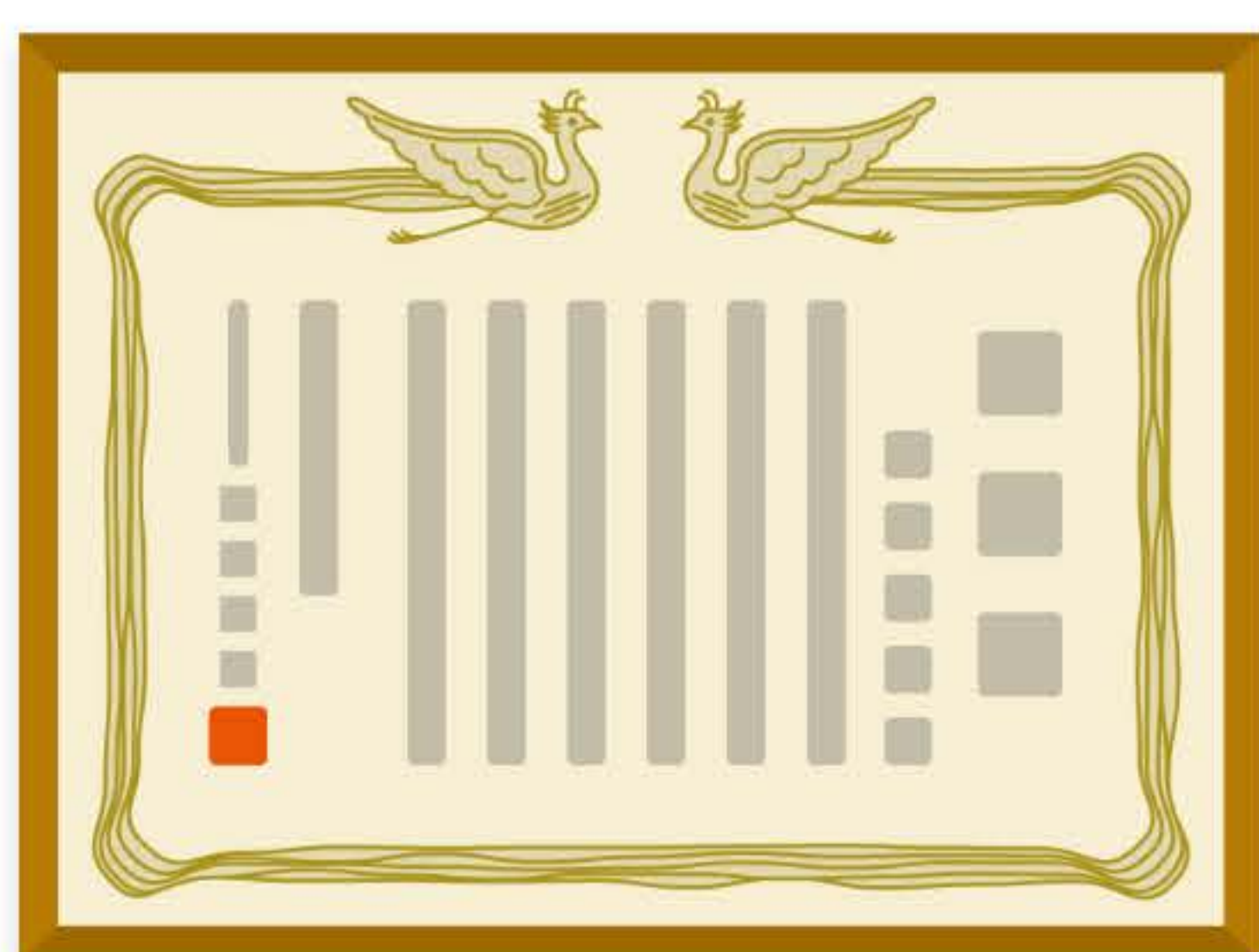


数字で読み解く 森林総合研究所

1905年（明治38年）に農商務省林業試験所として発足した森林総合研究所には、現在700名以上の職員が在籍。研究は、学術分野を中心に高い評価を受けています。

職員の研究に関する

受賞・表彰



120件

職員数



718名

女性比率



22%

平均年齢



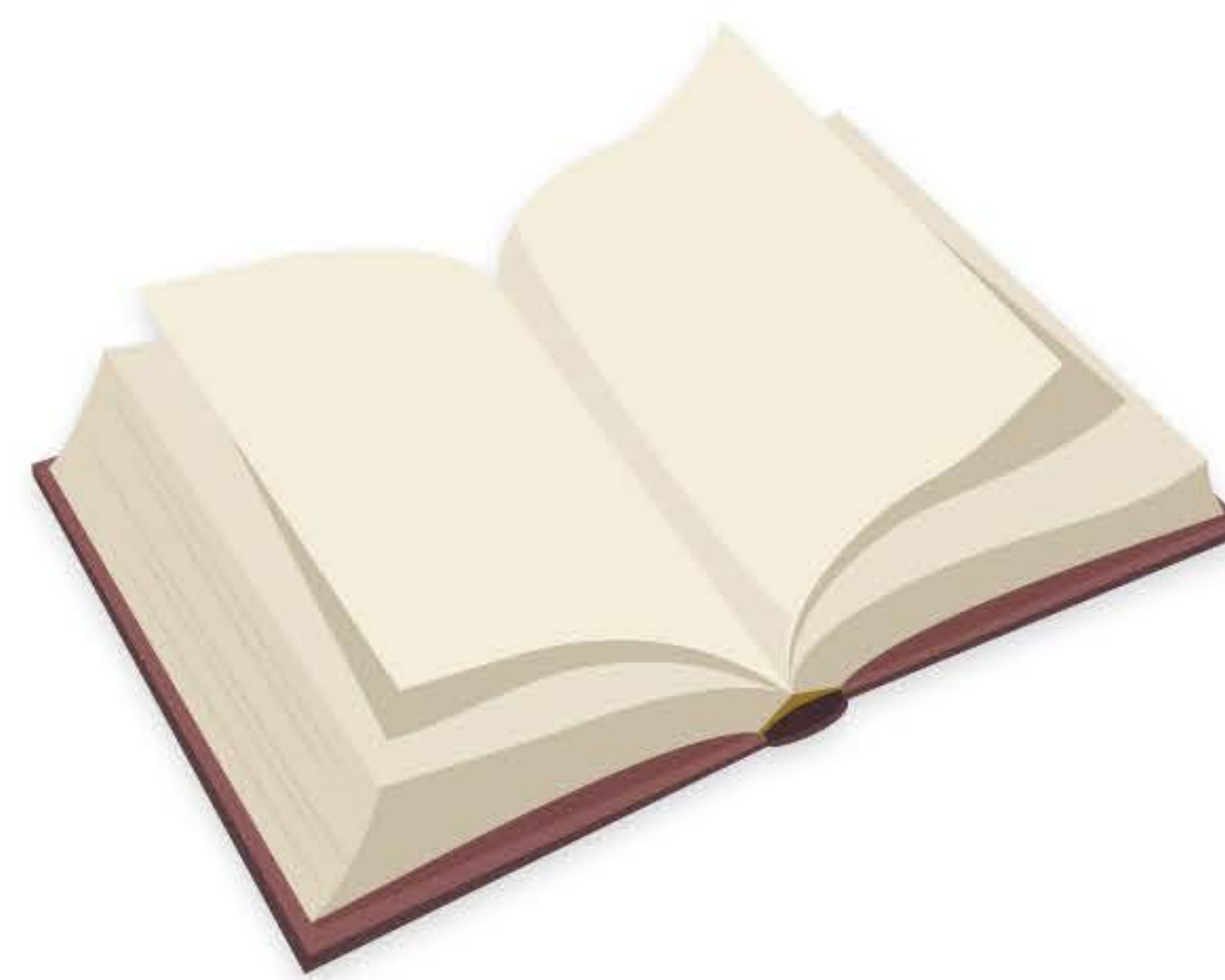
47歳

予算 (令和7年度)



116億円

歴史



120年

令和7年4月1日時点

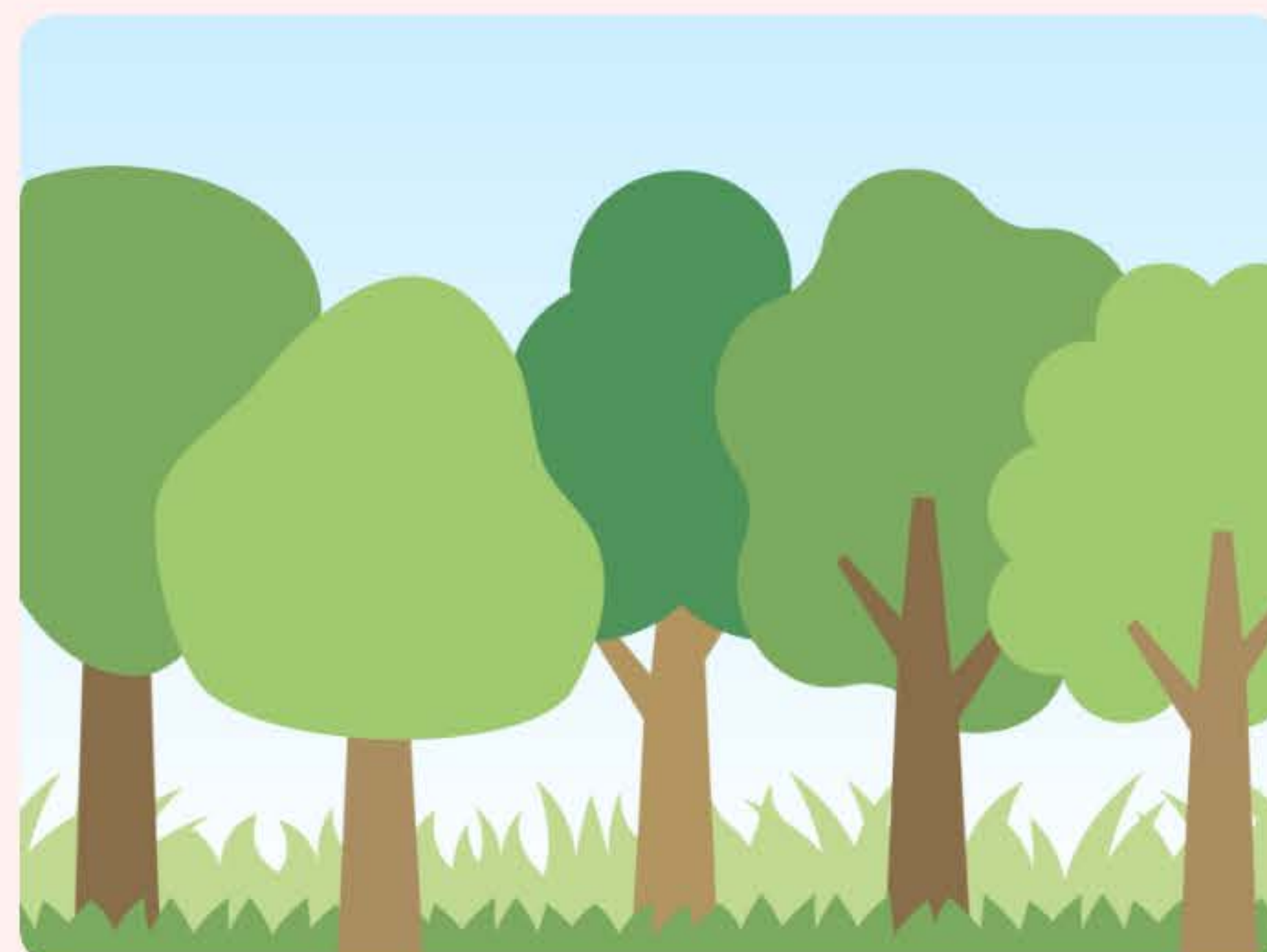
研究開発3つの重点課題

森林総合研究所は持続可能な社会の実現に向けて、森林・林業・林産研究を総合的に
行っています。様々な社会課題の解決に貢献しています。

1

森林の 多面的機能の発揮

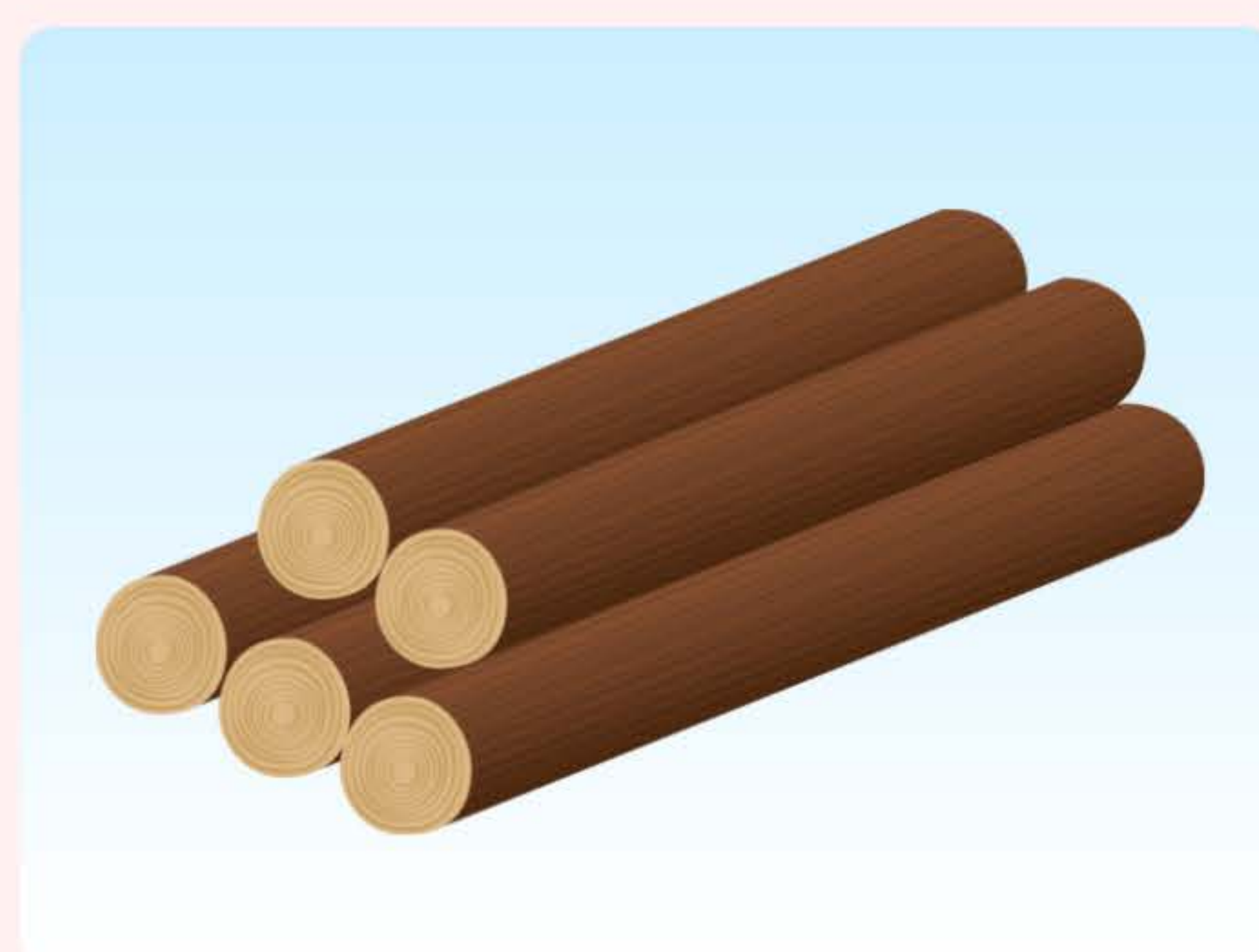
森林が持つ多面的な機能を健全に発揮できるように
するための森林管理技術を開発し、森林環境問題の
解決や国土の強靱化に貢献します。



2

循環型社会の 実現と山村振興

森林資源と森林空間を持続的に利用し、森林に関わ
るすべての産業の一体的発展と山村振興に役立つ技
術を開発して循環型社会の形成を目指します。



3

林木育種

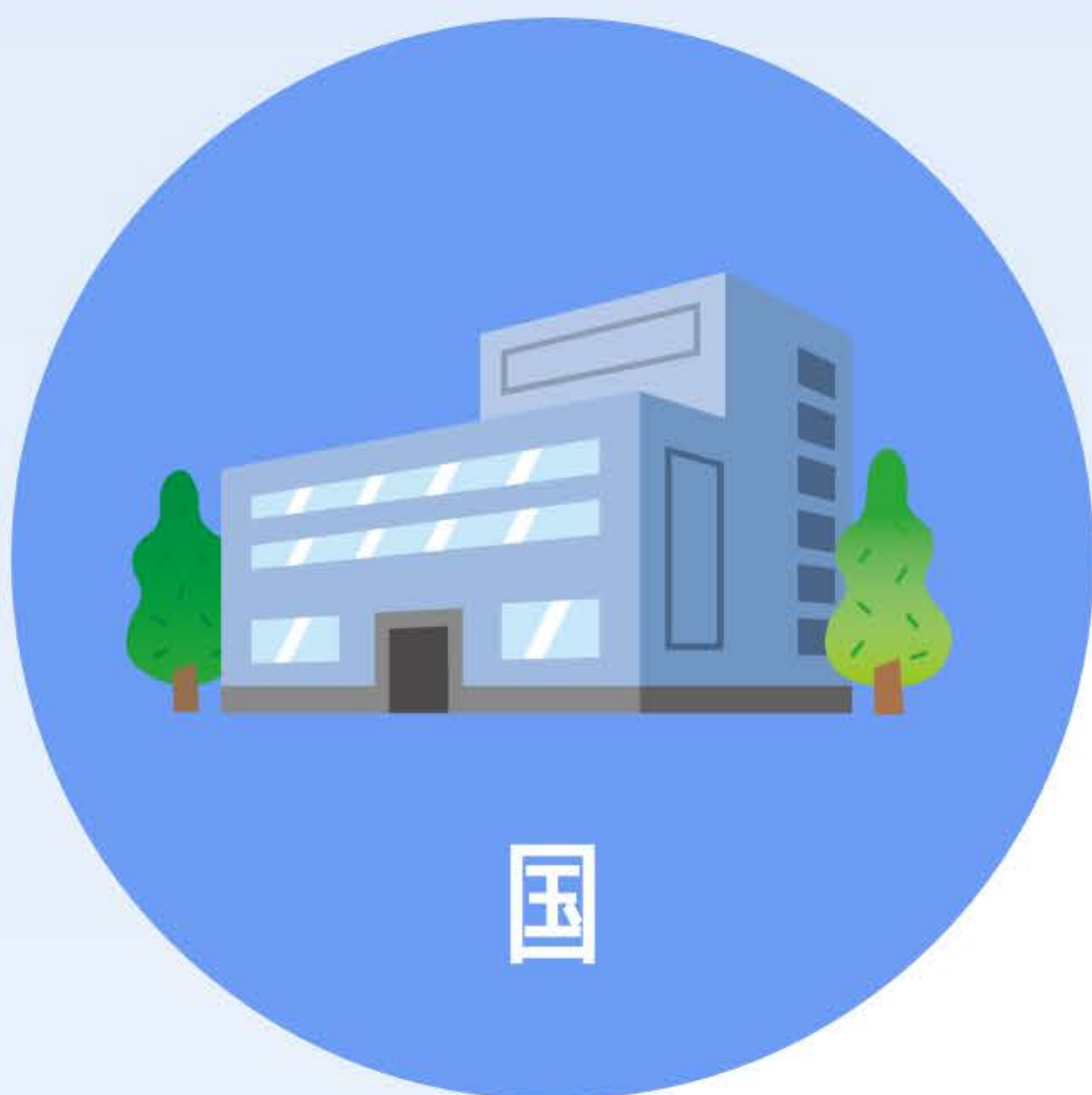
これからの森林づくりと林業の持続的な発展に役立つ品種改良（林木育種）や、林木の遺伝的な多様性を守るための技術開発等に取り組めます。



研究成果を社会に役立てるための

産学官民との連携

研究開発の成果をさまざまな社会課題の解決に役立てるため、企業や学術機関、国や地方の行政機関、地域団体、国際機関などとの連携を推進しています。



森林総合研究所





関係各所と連携しながら研究開発の成果を、
広く社会に還元しています。



研 究 所 内 部 へ 潜 入

茨城県つくば市にある森林総合研究所は、広大な敷地に研究棟や実験棟のほか、樹木園や苗畑などが配置されています。その一部をレポートします。



玄関ホール

研究本館の玄関ホールには、ヤクスギで作ったテーブルやイスが置かれ、樹齢約1,200年のヤクスギや樹齢約150年のアキタスギの断面など樹木に関する展示が行われています。



もりの展示ルーム

樹種の異なる木材でつくった木琴やツキノワグマの毛皮、昆虫標本など森林に関する研究成果を伝える展示が行われています。夏休みやイベント開催時などに一般公開しています。



鳥獣標本室

鳥類や哺乳類の骨格標本が約300種3,000点、学術研究用の仮剥製が約650種10,000点ほど保管され、実験や研究に利用されています。100年以上前に採取されたものも多く残されています。



木質構造第2実験棟

木材の強度を調べる大型の試験機が設置されています。近年、中高層建築物にも木材利用が増加したため、木材の構造安全性に関するデータを収集する必要性が高まっています。





実験住宅棟

木材と土壁を使用した3LDKの2階建住宅で、音や振動の伝わり方、気密性や断熱性に関する実験のほか、木材を使用した居住空間の快適性や経年変化に関する実験を行っています。

池

敷地内の池にはフナやコイ、カメなどが生息し、時折カワセミの姿も見られます。周囲には木が繁り、遊歩道も整備されています。大雨時の調節池としての機能を有しています。



理髪室

職員専用の理髪室があります。木材を多用した内装になっています。基本的に週1回の営業で、時間は9時から16時まで。職員は、時間休などを取得して利用しています。



《 YouTubeでも情報発信 》



【森林講座】
未利用の森林資源は
見方によって
宝の山

森林総合研究所が運営する
YouTube「森林総研チャンネル」では、研究内容や成果等
をもとに野生生物の生態を調
べる方法や国産トリュフの栽
培に向けた試みなどを、資料
や映像を使ってわかりやすく
解説しています。

森林総研チャンネル：<https://www.youtube.com/@FFPRIchannel>



今週のまとめ

森林総合研究所は、森林や林業、木材、森林の生き物などの多岐にわた
る研究を行い、これらの成果を社会に還元できるよう、情報発信にも積
極的に取り組んでいます。森林の豊かな可能性を感じる施設です。